

2020年3月1日

幼保連携型認定こども園

## Y M C A 保育園 3月えんだより

### 3月聖句「わたしの主イエス・キリストの名により、父である神に感謝しなさい」

＜エフェソの信徒への手紙第5章20節＞

一年で最も寒いとされる2月が過ぎて、春を待つ季節を迎えます。ご入園、ご進級から一年が経ちますが、身長や体重、言葉、運動、友達との関係等、どれを取りあげてみても、大きくなったと感じます。又、春からの一年が楽しみになります。

さて、毎日のように、ニュースで耳にする感染症に関して、日々刻々と状況が変化し、様々な情報に惑わされるところがあります。11年前に流行した「新型インフルエンザ」においては、保育園の開園以来、初めて感染症が原因で「休園」となったことを思い出します。可視化できないウィルスや感染源に不安を抱えて、マスクをしていない人を見るや、世間では罵詈雑言の嵐という時もありました。窮地に立つと、駄目だと理解していても、他罰的になってしまいます。反省を生かして、自らの心身を整えて冷静に日々を送ることを大切にしたいですね。

今月は、年度の最後の月、園でも教職員は自己省察し、園の一年を振り返りつつ、次年度の目標を計画しています。一年の最後の聖句は、私たちに「光の子として歩みなさい」と勧められています。一人一人が世に命を授けられて、与えられた人生を生きる中で、自分をみつめ、何度となく悔い改める中で、心を新たにし、何が善で悪かを見定め、それは神様の御心に適うかどうかにかんがみ、神様の御心は聖書を通して言葉と祈りを持ち、互いに教えあい、諭しあうことが、光りの子として歩むことだということです。

子ども達は、毎日の園生活と遊び連続性の中で、この気づきと学びを繰り返しています。少しずつ学んでは忘れ、繰り返し同じことをして、指摘されては気づき、褒められて大きくなっていきます。その意味において、子どもには、何度も教えられる権利があり、何度も失敗をする権利があると私は思っています。子ども達の心の中には、正直な心が大いに宿っています。望ましくない行いがあっても、子どもの純真な心を待てば、必ず子ども達は返してくれます。そんな姿を見るたびに人間の心の美しさ、それは神様が与えて、備えてくださった美しさに出会います。4月になると進学していくゆり組のお友達、そして一つ進級していくお友達が、いつまでもこの美しさを抱きながら成長していく姿を願っています。

最後になりますが、皆様のご協力とご支援に心より感謝を申し上げます。

年主題 『ことばに満たされて～ひびきあう～』

3月	乳児 (0,1,2 歳児)	幼児 (3,4,5 歳児)
月主題	おおきくなった	心はずませて
月の願い	＊大きくなったことを喜ぶ ＊自分でできるという気持ちや、したいという意欲をもつ	＊神さまの守りの中で、大きくなったことを喜び、感謝する。 ＊新しい生活へ安心して向かおうとする ＊友達と協力し、アイデアを出し合い、工夫し遊びを充実させる。
讃美歌	ちいさいおててに	つくしのように 幼児讃美歌 58